

梅雨入りはまだかな？

カビなどの発生にご注意

これを書いているのは六月五日です。九州北部地方の梅雨入りの平年日は、だいたい6月5日くらいですが、今年はしばらく梅雨入り発表はなさそうですね。

梅雨時期から、そろそろエアコンなどの空調を使い始めたりする時期ですね。我が家でも先日エアコンの掃除をしたのですが、送風口などにカビが発生しておりました。洗剤を使って拭き掃除をして、とりあえずきれいにはしたものの、完全にカビを退治したかという点、全然自信がありません。ここは専門業者に掃除をしてもらうべきか、悩んでおります。

それはともかく。これからの時期は、あちらこちらにカビが発生しやすくなります。

カビはアレルギーなどを引き起こしたり、食中毒の原因になったりしますので、こまめにお掃除をして、その発生から予防をしましょう。



季節の言葉あれこれ

さて、今回も懲りずに「季節の言葉あれこれ」ということで、この時期にちなんだ言葉をいくつかご紹介することにします。(何度か言いますが、手抜きじゃありませんヨ?)

【梅子黄】

(梅の実黄なり) (梅の実黄ばむ)

二十四節気の末候で、七十二候の二十七候。「梅の実が熟して色づく頃」の意味。

新暦では六月十六日くらい。

この時期になると、梅の実が旬を迎えます。スーパーなどの店頭には、梅干しを作るための実が、袋に詰められてたくさん売られていますね。

個人的なことですが、一度梅干しを作ったことがあります。けっこう大変でした。

カビが一番の大敵ということで、容器やその他もろもろの道具を消毒することからはじまり、梅の実を優しく洗って乾燥させたり。ヘタをひとつひとつ丁寧に取り除いて、塩漬けにして重しを載せる。

一ヶ月ほどおいてある程度浸かったら、今度は数日間天日干しにして、また容器に戻して保管して…。

まー手間がかかること手間がかかること。

そんなこんなで手間暇掛けた甲斐もあり、おかげさまでカビが生えることもなく、立派な梅干しができあがりしました。味の方は…ちよつと塩っぱかったですが、けっこういけました。

いつかもう一度お手製梅干しを作りたいと思っておりますが、果たしていつになることやら。

【UFOの日】

6月24日は「UFOの日」。

ときは1947年のこの日。アメリカのワシントン州レニヤ山上空付近で、実業家のアーノルド・ケネス氏が「空飛ぶ円盤」を目撃したそうです。これが「UFO」というものに関心が向けられた最初の事件だといわれています。

ちなみに「UFO」とは「Unidentified Flying Object」(未確認飛行物体)の略だそうです。

世の中にはいまだに謎の方が多くあります。もしかすると、人間のあざかり知らぬところでそういうものが飛び回っているかも知れません。